



小中学校への更新タブレット配備が完了 児童生徒のタブレット活用状況は

国のGIGAスクール構想の推進に伴い、飯山市では令和2年度に市立小中学校の児童生徒に1人1台のタブレットを配備し、各小中学校で活用を進めてきました。

このタブレットについて、中学校では令和7年度、小学校では今年度、2代目となる新しい端末に更新しました。

2代目のタブレットとして 小中学校ともにiPadを整備

タブレット端末の更新にあたり、飯山市では市内の全小中学校の先生が参加して、更なる活用に向けた検討を令和6年度に行いました。令和2年度からこれまでの端末活用の課題を整理し、令和7年度から整備する2代目端末に求



配備したiPadは本体とキーボードが分離できる丈夫なケースに入っており、小学生にあわせて使いやすい仕様になっています。



先生が30人以上参加した研修会では、互いを先生や児童に見立てて、実際の授業を想定した実践的な内容で進められました。

める仕様として、①起動が早いこと、②カメラ画質が良いこと、③壊れにくいこと、の3点を重視し、これらの条件をクリアする最適なタブレット端末として、iPadを選定し、小中学校に整備したものです。

10月初旬には、端末を新たに整備した小学校の教職員向けにiPad活用のための研修を実施。先生方が、カメラアプリなどiPadならではの児童の理解や関心を深める機能について学びました。

**学習支援だけでなく
児童生徒の「心のケア」にも**
市内小中学校では端末の導入以来、タブレットを使ったドリル学習や、コロナ禍で

10月初旬には、端末を新たに整備した小学校の教職員向けにiPad活用のための研修を実施。先生方が、カメラアプリなどiPadならではの児童の理解や関心を深める機能について学びました。

感染防止対策が厳格に求められていた時期には、登校できない児童生徒が自宅からオンラインで授業へ参加するなど、タブレットの積極的な活用が進められてきました。

また、児童生徒は一人ひとりに付与されたクラウドアカウントを活用し、先生からの課題の配付や提出、従来のプリント類などをデータで受け渡すことが当たり前になりつつあり、学校生活の中でタブレット利用が定着しています。

令和7年度からは不登校対策として「心の天気」という取り組みも始まっています。これは、児童生徒が自身の心の状態を天気マークや短い文章で日々記録し、先生がその変化を見て声掛けのきっかけとするものです。

今後は、全国学力・学習状況調査など各種テストもタブレットで行う機会が次第に増えていく見込みで、引き続き、ICTを活用した教育の充実に取り組んでまいります。

お問い合わせ
子ども育成課学校教育係
Tel 0269-671-0741

保育園で運動会が行われました

9月下旬から10月中旬にかけて、市立保育園7園では運動会が行われ、各保育園に元気な声が響き渡りました。

10月1日は、澄み切った秋晴れの空の下、常盤保育園の「うんどう会」が開催され、35名の園児が元気いっぱいに参加しました。



雪組の皆さんが参加した「はじめてのおつかい」競技の様子

一方、年少の「雪組」、年中の「星組」、年長の「月組」は、園庭で競技に参加。ゴールを目指して懸命に走るかけっこ

や、クラスごとの特色が出た運動あそび、息の合ったリズム体操などを披露。自分の種目に張り切って取り組むだけでなく、「がんばれー!」と身を乗り出して友達に声援を送る姿があちこちで見られました。

ご家族や地域の方々の優しいまなざしに見守られながら、子どもたちの確かな成長と、とびきりの笑顔が溢れる素晴らしい一日となりました。



3歳以上児の皆さんが参加した「ちょっとだけ体操」

第54回

差別のない明るい飯山市を築く市民大会

～人権尊重のやさしいまちづくり
思いやりと温もりの地域づくりをめざして～

●開催日時

11月1日(日)
午後1時30分～午後4時10分

●会場

飯山市文化交流館なちゅら大ホール **《入場無料》**



詳しくは二次元コードから市ホームページをご覧ください。

●内容

- ・ドキュメンタリー映画「拳と祈り」上映
元死刑囚の袴田巖さんが直面した「冤罪」という人権侵害の現実を描いたドキュメンタリー映画
- ・市内小中学校児童生徒(城北小学校・城南中学校)の作文発表、児童生徒の人権啓発ポスター展示等
(お問い合わせ) 人権政策課 Tel 0269-67-0743

人権学習シリーズ

公正な採用選考をお願いします

飯山公共職業安定所 所長 澁澤 政史

「就職」は、一人の人間にとって、生活の安定や社会参加を通じての生きがい等、生きていく上で極めて重要な意義をもっており、人生を左右しかねない重大な決定にかかわるものです。憲法において「職業選択の自由」を基本的人権の一つとして全ての国民に保障しているのは、このような趣旨に基づくものです。

公正な採用選考は「応募者の基本的人権を尊重すること」「応募者の適性・能力に基づいた基準により行うこと」の二点を基本的な考え方として、実施することが大切です。「応募者に広く門戸を開くこと」「求人職種の職務遂行上必要な適性・能力を持つているかどうか」という基準で選考を行うことが基本となります。

採用選考において「本人の責任のない事項(①本籍地、②家族の職業、③住宅状況、④生活環境・家庭環境等)」や「本来自由であるべき事項(⑤宗教、⑥支持政党、⑦人生観、生活

令和8年度全国学力・学習状況調査 結果概要をお知らせします

全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導方法や教育施策の改善・充実につなげることを目的に毎年行われています。本年度は、小学校では6年生を対象に国語・算数の2教科、中学校では3年生を対象に国語・数学・英語の3教科で4月に実施されました。

全国と飯山市の平均値の比較では、小学校は国語科で全国平均を2.9ポイント、算数科で2.4ポイント下回りました。が、ほぼ全国並みとなりました。

また、本年度よりウエルビーング実践校「TOCO-TON(トコトン)」として県教育委員会の指定を受け、「子どもの学びたいを大切に」する学校づくりを推進しています。特に、子どもの「なぜ?、どうして?」の問いが生まれる授業展開の工夫により、子どもが学ぶ楽しさを味わえる授業をめざし、授業改善を一層進めていきます。

全国学力・学習状況調査結果概要(飯山市と全国の比較)

学校別	教科	全国	飯山市
小学校 6 年生	国語	60.9	58
	算数	56.4	54
中学校 3 年生	国語	63.9	61
	数学	57.0	55
	英語	499	480

※全国平均正答率は小数第一位、市平均は整数値で公表。
中学校英語は500点を中心にしたIRTスコアに基づく運用。

■お問い合わせ

子ども育成課学校教育係
Tel 0269-671-0741

信条、⑧尊敬する人物、⑨思想、⑩労働組合、⑪購読新聞雑誌・愛読書等」を、面接やエントリーシート等により把握することは、就職差別につながるおそれがあります。

例えば面接時に応募者をリラックスさせるため、身近で答えやすい話題として、家族に関する質問をしてしまったとしても、差別的意識が無かったとしても、知らないうちに予断や偏見を招き、本人に対する評価にフィルターがかかり、採否決定に影響を与え、就職差別につながるおそれがあります。

このため、厚生労働省「ハローワークでは、各種の啓発資料を作成し、配布等を行っており、また、ハローワーク飯山へご相談ください。(Tel 0269-621-8609) 事業主の皆様におかれましては、公正な採用選考について正しい理解と認識を深めていただき、差別のない公正な採用選考の実施に向けたさらなる取り組みをお願いします。